

営農計画樹立協議 各地区で開催される!!

カメラ アングル



鶴居地区



音別地区



白糠地区

平成二十二年度 営農計画樹立協議
が一月中旬から一月末にかけ、各地区
において行なわれました。

日本経済が低迷し、前年から続く飲
用乳及び乳製品の消費減少、バター・
脱粉の在庫が増え続けている中、現在
酪農業界では、牛乳・乳製品の消費拡
大に向け、全力で取組んでいる状況に
あります。

平成二十二年度の酪農情勢の見通し
として、経済情勢の低迷が続く中、生
乳生産については「北海道酪農生産体
制強化対策」（平成二十一年～二十三
年の三カ年間実施）の二年目を迎え、
国内の消費拡大は難しい見通しであり
ますが、今後の需給動向等を踏まえた
中で生産目標数量の伸び率が設定され
る見込みであり、需給状況にあわせた
中期的な計画生産が求められます。

このような情勢の中、当JAにおけ
る酪農畜産の安定的な発展には、生産
基盤の整備、生産性の向上及びコスト
低減等に向け、中長期的展望にたった
積極的な取り組みを御期待致します。

釧路地区JA女性部研修会 開催!!



講演 「白糠町酪農体験記」



講演 「初乳を使った手作りせっけんのチャレンジ」

一月二十日から二十一日の二日間にわたり、川湯温泉 川湯観光ホテルにおいて、平成二十一年度釧路地区JA女性部研修会が開催されました。丹頂女性部からは、四支部（鶴居・幌呂・白糠・音別）から計二十八名の部員が参加し、管内女性部員で合計九十名が参集しての開催となりました。

この研修会は、釧路管内のJA女性部員が集い交流を深めながら、JA運動への理解と参加促進、各種文化活動の展開、女性部組織を一層活性化させる事を目的に開催されているものです。

今回の研修会では、一日目に北海道スローフード・フレンズ帯広リーダー 湯浅優子講師による「今、若者の心をつかんだ『食と農』！」と題した講演が行なわれ、ファームインを通じて食と農の魅力やつながりなどについて学びました。続いて、全日空キャビンアテンダント 田舎で働き隊！隊員 新村明子講師による「白糠町酪農体験記」と題した研修会が行なわれ、白糠町の酪農家に酪農実習に入り様々な体験を通して感動を得た話などについて受講しました。

また、二日目には、美容室アルファ代表 鈴木良治講師による講演「初乳を使った手作りせっけんのチャレンジ」と題した講演が行なわれ、せっけんについての様々な知識や作り方などについて学ぶなど、二日間にわたって行なわれた研修会は大変有意義なうちに終了しました。

この研修会は、釧路管内のJA女性部員が集い交流を深めながら、JA運動への理解と参加促進、各種文化活動の展開、女性部組織を一層活性化させる事を目的に開催されているものです。

今回の研修会では、一日目に北海道スローフード・フレンズ帯広リーダー 湯浅優子講師による「今、若者の心をつかんだ『食と農』！」と題した講演が行なわれ、ファームインを通じて食と農の魅力やつながりなどについて学びました。続いて、全日空キャビンアテンダント 田舎で働き隊！隊員 新村明子講師による「白糠町酪農体験記」と題した研修会が行なわれ、白糠町の酪農家に酪農実習に入り様々な体験を通して感動を得た話などについて受講しました。

また、二日目には、美容室アルファ代表 鈴木良治講師による講演「初乳を使った手作りせっけんのチャレンジ」と題した講演が行なわれ、せっけんについての様々な知識や作り方などについて学ぶなど、二日間にわたって行なわれた研修会は大変有意義なうちに終了しました。



講演 「今、若者の心をつかんだ『食と農』！」



参加した女性部員の様子

釧路酪農チャレンジ60

「946運動」・実績報告会開催

白糠支所営農販売課 松崎勇人職員 発表!!



営農技術指導の成果を発表する 松崎 職員

二月二日釧路全日空ホテルでは、釧路管内の各JAから酪農専門技術員三期生七名による営農技術指導実績報告会が行なわれ、発表者及び各関係機関から計四十三名が集まり開催されました。

このチャレンジ60「946運動」は、釧路地区酪農対策協議会により、平成十八年度から実施されており、酪農経営支援及び酪農専門技術員を養成する目的で行なわれております。

今年度は、第三期生により、経営再建及び技術改善対策などについて、営農指導モデル農家一戸を選定し、一年間を通し技術指導及び技術員のレベルアップを図っていくことを目標として取り組んできたものです。

今回の実績報告会で松崎職員は、選定農場の背景及び概要、課題について説明し、具体的な取り組み内容として自給粗飼料の確保、哺育牛飼養管理の改善、繁殖管理の改善等について報告しました。そしてその成果及び今後の課題と対応について説明したうえで、今回の経験を生かし地域の農場に貢献できるように努めていきたいとまとめました。

このチャレンジ60「946運動」が、釧路酪農への支援及び経営の安定化に向けた取り組みとして、農協及び各関係機関が一丸となり継続してまいりますので、今後ともより一層の組合利用の程をよろしくお願い致します。

J A 共済からのお知らせ

平成22年1月27日

組 合 員 各 位

釧路丹頂農業協同組合
代表理事組合長 瀧澤 義一

共済規程の一部変更について、下記のとおり平成22年1月26日第11回理事会（1月定例理事会）において議決いたしましたので定款第55条第2項の規程にもとづき掲示いたします。

なお、変更の内容については、今後、北海道知事の承認を受け、効力が生じることとなります。

記

1. 変更内容

平成22年4月1日の保険法施行に伴い、共済規程の一部を変更する。

2. 実施時期

平成22年4月1日

以 上

新生仔牛の呼吸の重要性

母牛のおなかの中で守られてきた仔牛は、環境に対して無防備な状態で生まれてきます。自然界では母牛が手助けしますが、農場では、人が母牛の変わりにしっかりと手当しなくてはなりません。

今回は、出生後一番始めに行う「呼吸の確認と促進」について再確認したいと思います。

◆出生直後の仔牛の特徴

仔牛の呼吸は、分娩時にへその緒が切れたときから始まります。その際、鼻や口腔内に胎膜を吸い込んだり、誤嚥から羊水が肺に入ることがあります。そのため、ほとんどの仔牛は、酸素が欠乏した状態で生まれてきます。

◆呼吸を促進させるメリット

酸欠のままだと、酸素が体内に十分行き渡らないため、胃や腸の動きが弱くなります。

そのような状態で初乳を給与しても、初乳中の免疫や栄養分が仔牛に十分移行しません。

そのため、「初乳を与える前にしっかりと呼吸を促し、仔牛がきちんと初乳を受け入れられる状態

にしてあげること」が重要です。

十分に呼吸が行われることで、胃腸の働きが良くなり、第四胃にたまった羊水の排出がスムーズに行われます。それに伴い、哺乳の意欲が高まることや、羊水で初乳が薄まらずに、消化吸収されるといった効果が期待できます。最近では、初乳の吸収率が高まるという研究もあります。

◆出生直後の仔牛への手当

出生直後の仔牛には次のような手当を行います。

①呼吸を確認する

仔牛の呼吸を確認するまで、次のことを実践します。

- ・ 喉に異物が詰まるのを防ぐために、頭側をやや低くする。
- ・ 鼻や口の周りに胎膜や粘液がついていたら拭き取る。
- ・ 口の中に異物がないか確認し、指でかき出す。
- ・ わらの先などで鼻に刺激を与える。
- ・ 頭に冷水を掛ける。
- ・ 舌を強く引っ張る。



写真一 人工呼吸器（気道の粘膜を吸い取り、肺に空気を送り込む機能がある）

それでも呼吸が始まらない場合は人工呼吸を行います。最近では、市販されている人工呼吸器（写真一）を使う農場も出てきています。

②呼吸を促進させる

自然分娩させると、写真二のように、母牛は仔牛の体をやや強めになめます。この行動は、仔牛へのマッサージ効果があり、血流量を増やし、呼吸の促進に効果があるといわれています。

これと同様に、人がわらなどで仔牛の体を十分にマッサージすることが重要です。



写真二 マッサージの様子

分娩房などの条件が揃っていれば、母牛に預けることもできます。

◆分娩に立ち会う

できるだけ分娩に立ち会い、経過を観察することが必要です。立ち会うことで、様々なケアをすることができま。

出生直後の仔牛へ十分な手当をしてあげることが、その後の健やかな成長を促します。まずは呼吸の確認と促進を確実にいきましょう。

（平成二十一年十二月作成）

離乳後の育成牛管理

ペンやハッチで飼われていた哺乳牛の離乳後の管理は農場によってさまざまです。

離乳後に大切なことは『群』として牛同士の集団生活に慣れさせていくことです。

良好な発育をさせるために離乳後の管理を見直してみませんか。

一 出生後からの発育と群分け

群飼いは、月齢や体格が同じ牛をひとつの群にするのが理想です。体格差が大きい場合は、小さい牛が飼槽に近づけなかったり、発情した牛に乗駕されて事故に遭う危険があります。

○出生後から五カ月齢までの期間は、急激に発育しますので個体または各月齢ごとの群として飼いましょう。

○六カ月齢頃からは緩やかな発育となりますので、数カ月齢ごとでまとめた群飼いができるようになります。

(図一)

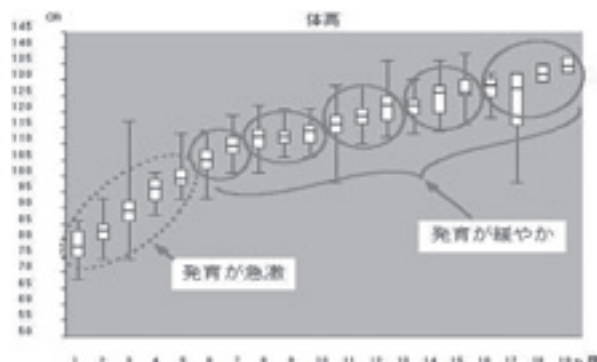


図1 育成牛の発育 (平成19年普及センター釧路中西部支所資料より)

二 離乳後から六カ月齢までの飼養管理

同じような体格の牛をまとめることで弱い牛を作らないことが大切です。

同じ体格の三〜五頭でひとつの群をつくりましょう。また、離乳後の牛はストレスがかかかっていますので、こまめに観察することも必要です。

次のことが飼養管理の重要なポイントになります。

ポイント

○いつでもエサが食べられる
ラップサイレージ、乾草などを飽食できるようにしましょう。

○いつでも水が飲める

飲みたいときに十分飲めるように水を入れたバケツや水槽を設置しましょう。

○換気を良くする

これからは春の陽気もあり、徐々に暖かくなります。日中、窓を開けて換気しましょう。

○休息できる乾いた場所がある

エサを食べたり水を飲むための場所と十分な敷料がある体が汚れない場所の区別をします(写真)。

○適度に運動ができる

施設にパドックなどを併設すると良いでしょう。

飼養場所は、既存施設の利用があります。

スーパーハッチ(図二)を利用する方法もあります。

雨や風をしのげる休息の場と、柵の設置で運動場がつけられます。

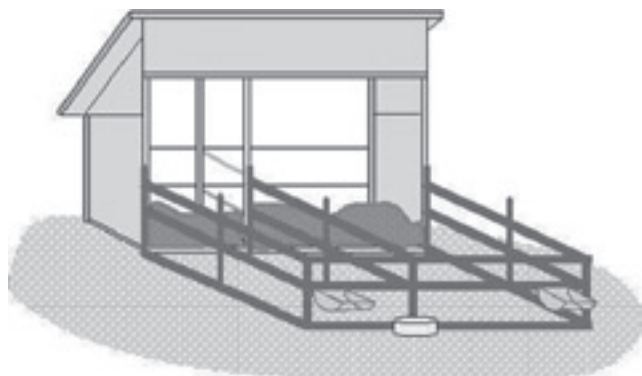


図2 スーパーハッチのイメージ



写真 乾いた敷料がある場所で休息



■平成21年度 生乳生産実績（12月）

	月計乳量 (kg)	12月前年比 (%)	累計乳量 (kg)	累計前年比 (%)
釧路丹頂農協	8,523,525.6	98.8	77,591,631.4	101.4
（鶴居地区）	2,773,364.9	100.4	25,619,915.3	103.3
（幌呂地区）	2,321,902.7	98.4	20,626,081.4	99.4
（白糖地区）	2,011,839.3	98.0	18,193,111.7	102.0
（音別地区）	1,416,418.7	97.3	13,152,523.0	100.2
管内計	44,303,642.0	98.6	405,210,256.2	100.0
（平成20年度管内計）	44,941,669.4		405,228,940.6	

■平成22年度 生乳生産実績（1月）

	月計乳量 (kg)	1月前年比 (%)	累計乳量 (kg)	累計前年比 (%)
釧路丹頂農協	8,756,966.7	98.7	86,348,598.1	101.1
（鶴居地区）	2,852,245.4	100.3	28,472,160.7	103.0
（幌呂地区）	2,383,859.8	98.4	23,009,941.2	99.3
（白糖地区）	2,096,737.6	98.7	20,289,849.3	101.7
（音別地区）	1,424,123.9	96.2	14,576,646.9	99.8
管内計	45,406,875.3	99.3	450,617,131.5	99.9
（平成20年度管内計）	45,721,424.5		450,950,365.1	

家畜販売市況情報

乳牛

□予想相場

22年2月現在

（単位：千円）

規格	種別	登録牛	
		上	中
育成（8～12ヶ月）		270	190
初妊		560～520	520～480
経産	2産～3産	430	380
	4産～5産	380	330

初生とく

22年2月現在

初生とく	規格	単価
	61kg～70kg	都度協議
	45kg～60kg	750円/kg
	40kg～44kg	650円/kg

（提供／ホクレン釧路支所）

22年1月15日音更市場

（価格：円・体重：kg）

黒毛和種

畜種	性別	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	体重単価
肉素	メス	545頭	684,600	29,400	331,704	286	1,161
	去勢	799頭	662,550	107,100	405,186	303	1,339

（提供／ホクレン帯広支所）